



「**ガマの油売り**」が売っていたのは・・・

実は「**我が馬の油**」だった!?

CME馬油化粧品発行の「馬油通信」によると、がまの油は馬油だったとか。歴史もルーツもありそうでなさそうな、ウソのような本当のような、さすがはがまの油伝説。あれもこれもみくんなまとめて『陣中膏はがまの油だ!』

有名な『ガマの油売り』

この大道商人たちが「がまの油」として売っていたのは、実は馬油だった! という事を皆さんはご存知でしょうか?

今では、時代劇やイベントでしか目にすることが出来なくなりましたが、『やけど・切り傷ひび割れ等どんな傷でもピタリと治す秘薬の中の秘薬・・・』というあの独特の口上で売られていたがまの油ですが、江戸時代に馬の油からがまの油と名前を変えて売られていたのです。

なぜ、名前を変更する

必要があったのか??

江戸時代中期頃、武士たちは年老いて屠殺してしまった自分の馬の油を売っていました。

しかし、五代將軍綱吉の「生類憐れみの令」により、生き物が厳しく取り締まられ、牛馬の食用が堅く禁じられると、公に馬の油とは言えず、『がまの油』と名前を変えて売られるようになったと言われています。

『我が馬の油』が↓『我馬の油』が↓『がまの油』と変名され、馬油であることを隠して売っていたようです。がまの油という名前に引っかけ、口上をさらに面白く並べ立てた大道商人によって、いつしか名前からは、『馬の油』の文字は消え『がまの油』の名前で秘伝の民間薬として全国に伝わっていききました。

以上

※ CME馬油化粧品発行の「馬油通信」より



国土地理院 地図と測量の科学館
企画展のご案内

筑波山とつくば道

期間 平成二十年三月四日(火)～五月十一日(日)
〔月曜休館〕

国土地理院の主催で、前記のとおり企画展示が行われている。筑波山の歴史、地形を知る良い機会である。今回は筑波山神社の協力により、狩野探幽筆の三十六歌仙絵三十四枚が初公開されている。他にも、なかなか目にする機会が無い貴重な文化財が多数展示されているので、この機会に足を運ばれてはいかがでしょう。



→企画展案内のパンフレット

つくばね会 練習会風景

昨夜の風で散った枯れ葉に混ざる小枝をポキポキ音を立てて踏み、菅原公民館の入りの坂を車は登る。のどかな冬日和の十二月九日、今年最後のつくばね会練習会の様子であります。

練習会の後半は、宇野先生の呼びかけで今年の流行語を使って「創作がま口上」を作ることになりました。

出席者がA・Bのグループ二組に分かれ、Aグループに佐藤・富山 女・丸山・清水深美・稲葉、Bグループは池田 女・市村 女・萩原・鈴木 女・近藤・碓井（敬称略）になる。Aグループは活発にどんどん進行している様でした。

(グループA)

佐藤貞弘

黒板に書かれた流行語に男四名が?????

この言葉、どんな時にどんな感じで使うのがよくわからない。家のテレビでやっていないよ。

こう言う時には好奇心と幅広の情報を素直に受止める包容力豊かな女性が頼りです。Bグループ三女性の活発な討論の声が気になるのですが、まず、Aグループ唯一のT女史から言葉の説明と身振り手振りのアドバイスを受けて、さあ少しわかったぞと意気込む。

グループ全体の理解が深まったところで議論百出、だが時間切れ。その苦心の作を報告します。

平成19年の流行語を用いた
創作がま口上

○自分には関係ないと白けた調子で「鐘が鳴るのか撞木が鳴るのかおらそんなの関係ねえ」と思っている方もおいらかもしれまんが・・・」

○食品偽装にひっかけて「無農薬のオンパコウという露草・薬草を食らって育ちます。」とさりげなく自然食品愛用をPR。

○がま先生の醜さと王子を対比させると問題意識に支配される。その様子を「俺はハンカチ王子だとかハニカミ王子だとか言っているがま先生 鏡に写った己の姿を見てびっくり仰天 ウワッ！この姿・・・どげんかせんといかん」と思えばタラリ 思うほどタラタラ 猛暑日でもないのに 油汗おばタラタラタラと流すのであります。」と続ける。

○がまの油の効能として「ぐっと取ってやさしく塗りこむ時には痛みはたちまち消える だが 痛みを消しても消えた年金は復活してよ！ どげんかせんといかん！！」と欲張って取り込む。

○さて最後に、紙切りの後半に「・・・六十四枚が一束と二十八枚 どんだけえ〜！」と入れてみたが、これはイントネーションが難しい。

さて、A・Bグループの創作がま口上が出揃いましたが如何でしょうか。

さあそれでは皆さんも、今年の流行語大賞から「どげんかせんといかん」、「ハニカミ王子」。

大賞以外から「大食い」、「消えた年金」、「食品偽装」、「そんなの関係ねえ」、「鈍感力」、「どんだけえ〜」、「ネットカフェ難民」、「猛暑日」を使って

「創作がま口上：口上の中にユーモアを！」の課題に挑戦してみてください。

(グループB)

碓井 賢

これからはBグループの話をしませう。Bグループは女性の皆さんより、流行語大賞の「ハニカミ王子」を使いたいと強い希望があり、「四面鏡張りの箱の中にがまを放り込む 俺様ハニカミ王子と自惚れていたがま先生 己の醜い姿」と続くように入れて一同ホットする。もう一方の大賞「どげんかせんといかん」はいろいろの所に入れてみるが、口上の抑揚がなくなり、リズムが壊されてしまうので使うのを断念する。この間四十分程全員一生懸命に論議をする。

次にギヤルソネを使うことになる。しかし、私は「ギヤルソネ」？がとんと判らない。十分も過ぎて「大喰い」をするタレントさん、ギヤル曽根さんの名前と判って安心した。「露草・薬草をギヤル曽根さん顔負けの大喰いをして ふつくらと育ちます。」と入れる。

次に女性の皆さん「どんだけ〜」を両手を高く上げて叫び、口上を盛り上げる様にしようと、振り付けまで議論となり「このがまの油の効能はと言うと どんだけえ〜 大声で叫ぶと お考えの方もお有りでしょうか・・・疾・がんがさ」と使うことにした。

次にHさんから後の方に偽装を使ったらとの意見があり、「半額の百文ではどうだ 表示偽装も産地偽装も一切無しの本物だよ」と入れる。そして最後に新人のKさんより「そんなの関係ない」を始めのところに「御用とお急ぎでない方も

ねんりんピック茨城2007

ねんりんピック茨城2007

ペタンク交流大会に参加して

全国生涯学習年2006、全国健康福祉祭（ねんりんピック）茨城2007、「さわやかな 長寿の風を茨城に」のテーマのもと11月10日～13日まで開催されました。

淀縄 光子

今年、国民文化祭「常世の国つくばね」の文化のいぶきのテーマで、十一月一日～九日まで常世の国こくぶん祭が開催され、ボランティアスタフとしてお手伝いすることになっています。

そんなの関係ねえと思われる方も ゆっくりと聞いておいで」と入れたらと提案され全員感心し、入れることになった。
あらためて、がまの油売り口上講座の読本は良く出来ていると思う二時間でもありました。また、平成がまの油売り口上を創作しようと言う皆さんの心意気も強く感じた一日でした。

ペタンクとは？

1910年に南フランスで生まれたボールスポーツ。どこでも、ほんの少しのスペースで子どもから高齢者まで気軽にプレーできる。木製の目標球に、金属製のボールを投げ合って得点を競うゲーム。たった1球で形勢を有利にしたり、大量得点を取ったりする面白さがある。

ねんりんピックは二年前より各実行委員会を立ち上げ、一昨年の静岡大会の視察、二〇〇七推進助成事業としていばらき大会を広くPRし、大会の機運、醸成を図るとともに各地域でグラウンドゴルフ・ゲートボール・ペタンク等の体験交流会を何回も開きました。私の住む明野では、小学生から高齢者の三世代交流大会を、参加者100名、孫には負けられないとハッスル黄門ならぬハッスルじいちゃん、ばあちゃんがいきました。
笠間市のペタンク交流大会は、全国から六八千名二五六名の選手団を迎えて開催しました
一〇日は開会式、十一日初日の予選リーグは雨天のなか、十二日の決勝戦においては、夜間照明のもと両チームの緻密な戦略と高い技術に感動を覚えながら締め括る事が出来ました。
この日のため、ペタンク審判員の資格を取るのに三年前から予定し、ひたひたなか市のオールいばらきペタンク協会まで講習会と練習に通い、資格を取ってから笠間市の審判講習会を何回も受けて望んだのですが、予選リーグの前夜は緊張で眠れませんでした。
三年続けて文化とスポーツの全国大会を経験、

参加し、協力出来ること、一生の内でもまたないチャンスです。

身体の健康、心の健康、そして家庭的にも恵まれて、現役時代には到底得ることの出来なかった退職後の「時間」をガムシヤラに身体で受けとめ、茨城県生きがい推進員・茨城県生涯スポーツ指導員・ニユーススポーツ普及員として活動しています。
遠くは、那珂市の笠松運動公園、東海村の阿漕ヶ浦運動公園、常陸大宮市、鹿嶋市それぞれの運動公園へ、高齢者に適したニユーススポーツの普及、発展並びに生きがいづくり、地域づくりにと、愛車を駆使して走りまわっています。



ハッスル黄門様の前で

毎日のように、新聞紙上に掲載されているのが、『裁判員制度』です。皆さんの中には、刑事裁判に参加することに抵抗や不安を感じられる方も多いと思います。特に、「人を裁くということをしたくない」、「有罪・無罪の判断が難しそう」とか「仕事を長い期間休むのは無理」といった声が聞こえます。

裁判員制度って何？

『裁判員制度』は、平成十六年五月二十一日に成立しました「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」に基づき、平成二十一年五月までに開始される制度で、国民が裁判員として刑事事件に参加し、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするかを裁判官と一緒に決めていく制度です。

わが国の刑事裁判については、厳密ではあるものの、わかりにくく時間がかかるといった感想を持っている人も少なくないと思いますが、国民が裁判に参加することにより、裁判全体に対する国民の理解が深まり、司法がより身近なものとなるのが期待されています。

この裁判員制度は、地方裁判所ごとに裁判員が選出されるもので、茨城県では、水戸地方裁判所の一箇所だけとなります。

裁判員には、選挙権を有する二十歳以上の方なら誰でも選ばれる可能性があります。

まず、裁判員が選出されるまでの流れについてですが、各地方裁判所は、九月一日までに管内市町村ごとの裁判員候補者の人数が翌年

人必要になるかを決め、市町村選挙管理委員会に選挙人名簿から裁判員候補者を「くじ」で選ぶよう通知します。

選挙管理委員会は、最高裁判所が配布する「名簿支援プログラム」により、毎年九月二日現在の選挙人名簿から、人数分の裁判員候補者を選出し、「裁判員候補者予定者名簿」を十月十五日までに地方裁判所に提出します。

名簿を受け取った地方裁判所は、裁判員法で資格がないとされている禁固以上の刑に処せられた人や弁護士、自衛官などの裁判員にならない職業の人などを除き、「裁判員候補者名簿」を作成します。この名簿の有効期間は一年間であるため、毎年作成することになります。

検察官が、①殺人、②強盗致死、③傷害致死、④危険運転致死、⑤現住建造物等放火、⑥身の代金目的誘拐、⑦保護責任者遺棄致死などの社会的関心の高い犯罪の容疑者を起訴し、裁判が始まる時に、地方裁判所では、「裁判員候補者名簿」の中からさらに「くじ」で、その事件を担当する裁判員候補者を選出します。

この選出された裁判員候補者には、地方裁判所が「呼び出し状」と「質問票」を送り、候補者は、指定された期日に裁判所に向き、「質問票」により、裁判長から事件との利害関係の有無や不公平な裁判をする恐れの有無、辞退希望の場合はその理由などの質問を受けます。

裁判所では、裁判長の質問の結果などを基に、裁判員候補者から除外される人を決定します。ちなみに、七十歳以上の高齢者・学生・重い病気やけがで裁判員としての参加が困難な人は、辞退が可能とされており。

残った人が多いときは、くじ引きとなりますが、その結果、裁判員六人と数人の補充裁判員が選ばれ、裁判に参加することになります。

最高裁判所によると、七割の事件は三日以内、九割の事件は五日以内で終わるものと予想されています。

市町村ごとに裁判員が選ばれる確率は、現在のところ公表されていませんが、水戸地方検察庁がホームページで公表している資料によりますと、平成十八年に水戸地方裁判所で受理した重大事件の対象件数が七十四件で、一件につき五十人の裁判員候補者を選んだ場合、一年間で裁判員候補者として裁判所に呼ばれる確率は、県内で六五二人に一人、このうち裁判員六人と補充裁判員二人の八人とした場合にも選ばれる確率は、四〇七六人に一人となります。

また、二十歳から七十歳までの生涯で、裁判所から呼ばれる確率は一三人に一人で、裁判員等に選任される確率は八十一人に一人と想定されていますが、裁判員候補者あるいは裁判員等に選任される人数は、対象事件数や有権者数により毎年変わることになります。

(詳しくは、法務省や水戸地方裁判所のホームページなどをご覧ください。)

資料提供 林 正一

編集後記

近年暖冬が続いたせいも、寒さが身にしみた今期でした。待ちわびた暖かさに、草木も一気に花開き、春の息吹に心が弾むと同時に、一六号をお届けできてホッとしております。次号の原稿、六月を目途にお届けください。 編集子